



エゾユキウサギの親子

先月、冬期開園を無事に迎えることができました。10月に続いて、延期に次ぐ延期となっていた修学旅行生などの来園が多くなっています。この時期は北海道と他の地域との寒暖差が大きいので、道外から来た学生の中には、寒そう！と、こちらが震え上がるような格好をしている子もいます。でも一般客の団体はとも少なく、園内は落ち着いています。もっとも、11月・12月は地元の人はいまだ動かない時期です。雪も少なく「寒いだけ」というこの時期は、雨が降るくらいなら雪の方がいいなと思うこともあります。

そういえば、冬期開園から週末も含め、もぐもぐタイムを再開しています。少しずつ旭山動物園らしさを出していきたいと考えています。年が明けたら雪あかりの動物園も実施したいです。まだまだ大きな声で旭山動物園

に来てね！とは言えない状況ですが、できることは淡々と、しっかりとやっていきたいと思っています。今年を振り返ると、エゾモングサのオープンなど、北海道の動物の飼育展示エリアが充実しました。新しい施設で、エゾユキウサギの繁殖もありました。巣穴も掘らず、子は生まれたときから茶色い毛に覆われ目も開き、人間の子供の拳くらいの大きさで、あれは縫いぐるみだ、と言ったら誰もが信じるくらいの愛らしさです。ウサギを飼いたい！という声も聞かえてくれるのですが、「みんなが飼っているのはカイウサギアナウサギ（Rabbit）で、エゾユキウサギ（ノウサギhare）なんだよ」と即席でガイドをするなど、来園者と一緒にエゾユキウサギの成長を楽しみながら見守りました。冬に向かって繁殖をする可能性がある動物、次の春に向けて繁殖の準備をする動物、冬はしんと静かですが、大切な季節でもあります。しっかりと準備を怠らず新しい年を迎えたいですね。

冬期開園を迎えた旭山動物園

動物園
手紙
[378通目]

旭山ピックアップ

ライオンと アフリカタテガミ ヤマアラシが 来園しました

10/19に、愛媛県立とべ動物園からメスのライオンが来園。昨年6/3生まれで、愛称はイオです。今後はオスのライオン・オリトと同居して展示する予定です。同日、長野県茶臼山動物園からオスのアフリカタテガミヤマアラシが来園。昨年6/8生まれで、愛称はショーロンです。かば館の放飼場で展示しています。



イオ（左）と
ショーロンが仲間入り



冬期開園日・時間

4/7(木)まで 10:30~15:30
(入園は15:00まで。12/30(木)
~1/1(土)は休園)
※最新情報は同園HPなどで確認を。

旭山動物園をもっと楽しむ

園内イベント

詳細は決まり次第、
同園HPに掲載



【詳細】旭山動物園（東旭川町
倉沼 電話36・1104）